

授業科目名	Harmony & Theory I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Harmony & Theory I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、コンテンポラリーミュージックで必要とされる音楽理論を教える。				
授業概要					
音楽の構造や楽典分析の仕方などを、理論立てて学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	Notation Basics Major Scales				
【前期】 7～10回目	Intervals Intervals Within and Beyond The Major Scale				
【前期】 11～14回目	Further Study Of The Triad Chords And Major Triads				
【前期】 15～18回目	Major Scale Harmony Chord Progressions Harmony & Theory 1 Review				
【後期】 1～4回目	Notation Basics Time Signatures				
【後期】 5～8回目	Major Key Triads Natural Minor Scales				
【後期】 9～12回目	Minor Scale Triad Harmony Harmony & Theory 2 Midterm Review				
【後期】 13～17回目	Minor Scale Harmony Diatonic Seventh Chords				
【後期】 18回目	Harmony & Theory 2 Review				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 1, 2				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Ear Training I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、ミュージシャンとして必要とされる聴音能力を高め相対音感を身につける授業を行う。				
授業概要					
聴こえてくるメロディーやリズム、ハーモニーなどを声に出し、聴音力を鍛える。					
到達目標					
楽曲を聴き、五線譜への採譜する能力の修得。 複雑なメロディーやリズム、ハーモニー等の聴音力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Pitch Major Scales/Sharp Keys Major Scales/Flat Keys
【前期】 7～10回目	Intervals Melodies Melodic and Harmonic Intervals
【前期】 11～14回目	Chromaticism Harmony
【前期】 15～18回目	Diatonic Harmony Try It All Together
【後期】 1～4回目	Meter And Rhythm Rhythmic Notation
【後期】 5～8回目	Sight Singing Transcribing Melody and Rhythm
【後期】 9～12回目	Midterm Review Melodic and Harmonic Intervals
【後期】 13～17回目	Triad Qualities Diatonic Chord Progressions
【後期】 18回目	Ear Training I Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Sight Singing (Vocal) I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Sight Singing I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991年テイクレコードよりデビュー後、映画やドラマ、CM、アーティストやタレントに作詞、歌、楽曲を提供。短期でNYにてボイストレーニングを受け、アマチュアからプロ志望、キッズからシニアまでの育成をしながら、自身でライブやコンサート活動中。前記経験を活かし、読譜から歌唱技術を向上させる為の授業を行う。				
授業概要					
読譜に関する知識を学び、実際に読譜して歌う。					
到達目標					
初見での歌唱技術の習得、向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Preparatory Warm-Up、Introduction to Sight Singing、Define&Indefine Pitch、Pitch Matching and Tonal Memory、Introduction to the Major Scale、Number System and Solfege
【前期】 6～10回目	Preparatory Warm-Up The Chromatic Scale: Part-1、Introduction to Leaps、Reading Practice Habits、Introduction to Leaps of M2、M3、P4、P5、M6、M7 and P8
【前期】 11～15回目	Preparatory Warm-Up、Introduction to Descending Intervals of m2、m3、m6 and m7、The Chromatic Scale: Part-2、Intervals Between All Diatonic Notes、Tritone and augmented Intervals
【前期】 16～18回目	Preparatory Warm-Up、Digital Patterns、Breathing While Singing、Choral Notation、Voice Leading and Cadences、Review
【後期】 1～5回目	Preparatory Warm-Up、Introduction to Sight Singing 2、Introduction to 3/4 and 6/8 Time、Syncopation
【後期】 6～10回目	Preparatory Warm-Up、Introduction to Natural Minor、Introduction to Compound Duple Time(6/8)
【後期】 11～15回目	Preparatory Warm-Up、Introduction to Triplet、Introduction to Chromatic Melodies、Introduction to Seventh Chords & the Augmented Triad
【後期】 16～18回目	Preparatory Warm-Up、Minor Key Cadences、Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Sight Singing 1, 2

授業科目名	Communication in Japanese		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in Japanese	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991年AIONでメジャーデビュー。その後VOLCANOに参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。前記記載の海外での実績と経験を生かし、音楽業界でよく使われる日本語の授業を行う。また、会話でのコミュニケーションも行う。				
授業概要					
音楽活動で使われる日本語、日本人と日本語でよく使われる言葉を覚える。					
到達目標					
会話力を身につけ、様々な練習を通して音楽の現場でコミュニケーションやディスカッションができる事を目指す。					
授業計画・内容					
1回目	音楽活動で使われる日本語、機材などの名称、練習。				
2回目	日本語あいうえお～わをんの発音				
3回目	会話でよく使われる言葉を話す。				
4回目	全体の発音を音程で捉える				
5～9回目	日本語、会話からの応え方練習①～⑤				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Communication in English		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in English	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	バークリー音楽大学出身。BABY FACE、USHERの来日時にドラムを務め、安室奈美恵のバックコーラスとして、NHK紅白歌合戦にも出演。スティービー・ワンダーとセッションするなど、その活動は幅広い。前記、ミュージシャンとしてもキャリアがあり、ネイティブな講師が音楽をキーワードに英会話を行う。				
授業概要					
いままで学んできた英語を活用し、音楽現場でのコミュニケーションに使えるようになろう。語彙や文法などを一度抜きにして、とにかく英語を使ってコミュニケーションしてみる。					
到達目標					
会話力をつけ、様々な練習を通して音楽現場でコミュニケーション・ディスカッションができることを目指す。					
授業計画・内容					
1回目	授業説明。英語に慣れる。挨拶と自己紹介をしてみよう。				
2回目	身の回りの物について話してみよう。				
3～4回目	音楽について話してみよう。好きなアーティストや楽曲を紹介してみよう				
5回目	音楽用語について。音楽現場での会話について				
6回目	様々なコミュニケーションについて				
7回目	プレゼンテーションについて				
8回目	プレゼンテーション				
9回目	復習と総括				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が別途指示。主に講師作成のプリントを使用。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	MusicBusiness		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	MusicBusiness	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベース/ドラム/ギター/ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し代表を務める。レコーディング・PAエンジニア、ポストプロダクションの実務経験は20年以上の経験を持ち。音楽のビジネスとは何か？を自身の起業の経験と業界で得た経験を活かし、音楽業界でのキャリアプランを形成する為の授業を行なう。				
授業概要					
音楽を通じビジネスを学びます。現代の音楽業界の多様化や変化を学習しながら、自分のキャリアを形成します。業界の仕組みや著作権、またWEBやSNSを活用したプロモーションなど多角的にアーティストの活動を理解していきます。					
到達目標					
音楽をインターフェースにビジネスを知る。個人事業主とは何かを知る。					
授業計画・内容					
1～2回目	音楽ビジネスとマネージメントについて学び、プロフィールを作成する。				
3～4回目	音楽産業について学び活動計画を考える				
5～6回目	デジタルツールの活用方法や音楽配信について学ぶ。				
7～9回目	自分の価値の打ち出し方、事業や活動に関する予算等について、著作権とは。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

授業科目名	Technique (Vocal) I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Technique I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業。幼少時から、ミュージカルで舞台経験を積む。現在は、主にアーティストに向けたボイストレーニングやバックコーラス、ピアノサポートなどを行っている。前記記載の経験を活かし、歌唱のテクニックはもちろん知識面も高め、ヴォーカリストとして更なる表現方法を身につける授業を行う。				
授業概要					
一生に渡って健康的な歌い方を維持していくために必要な知識、自信、指針を得る					
到達目標					
声の寿命を伸ばしながらテクニックを身につけるための練習方法を知る。声帯にダメージを与えることなく個々のアーティスト性を輝かせる。Performerとして多様性を持ち、様々な音楽ジャンルで自分自身を表現する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	Introduction 歌うための3つの要素 (Generator,Vibrator,Resonator)				
【前期】 9～12回目	Vocal Registers 言葉				
【前期】 13～17回目	効果的な練習方法 声の健康				
【前期】 18回目	Warm-Up / Workout				
【後期】 1～3回目	Vocal Registers / Vocal Ranges / Warm-Ups / 歌うときの母音				
【後期】 4～6回目	The Passaggio / 音楽を聴くということ / Improvising (Ad-Libbing)				
【後期】 7～10回目	Scales / Rhythm / Vibrato				
【後期】 11～17回目	Resonance / Tonal Colors / Harmony				
【後期】 18回目	安定した声を作るために / 声の健康				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Vocal Technique 1, 2				

授業科目名	Performance I (vocal)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Performance I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991年AIONでメジャーデビュー。その後VOLCANOに参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。前記に記載の数多くの実績と経験を生かし、ヴォーカリストとして必要なパフォーマンスやテクニックの授業を行う。				
授業概要					
鍵盤の伴奏をバックに歌詞の読み込みやマイクテクニック、MC、ステージングなどを学びヴォーカリストとしての総合的なパフォーマンス能力を身につけていく					
到達目標					
リズム、ピッチ、クオリティレベルの向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	譜面作成、構成 リズム、ピッチ、姿勢、歌唱実技				
【前期】 6～10回目	表情、目力、脚の動き 腕の使い方、コードとメロディ、歌唱実技				
【前期】 11～15回目	起伏度合い、レガート、スタッカート パワー、苦手な音程、歌唱実技				
【前期】 16～18回目	発声コントロール、柔らかさ 強弱の付け方、最終グルーブ、歌唱実技				
【後期】 1～5回目	譜面作成、構成 リズム、ピッチ、姿勢、歌唱実技				
【後期】 6～10回目	表情、目力、脚の動き 腕の使い方、コードとメロディ、歌唱実技				
【後期】 11～15回目	起伏度合い、レガート、スタッカート パワー、苦手な音程、歌唱実技				
【後期】 16～18回目	発声コントロール、柔らかさ 強弱の付け方、最終グルーブ、歌唱実技				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	各自が決める課題曲の譜面を各自が用意				

授業科目名	Digital Audio Workstation I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Digital Audio Workstation I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、海外で精力的な音楽活動を行い帰国。MI TOKYOで講師を務める傍ら、さまざまなアーティストの楽曲制作を行っている。前記記載の経験を活かし、ソフトの操作方法から曲作りのノウハウを学ぶ授業を行う。				
授業概要					
Logic Pro Xの主要な機能や基本的な操作を学ぶ。					
到達目標					
実際の曲のイントロからエンディングまでの制作過程を体験する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	iMac及びLogic Pro Xの紹介 Apple Loops オーディオトラックの録音				
【前期】 7～12回目	MIDIトラックの録音 Drummer(バーチャルドラム音源) オーディオトラックの編集				
【前期】 13～6回目	MIDIトラックの編集 ミキシング				
【前期】 17～18回目	ミキシングとオートメーション プレゼンテーション、Final Project提出				
【後期】 1～4回目	詳細設定とビデオファイル オーディオトラックの録音				
【後期】 5～8回目	MIDIトラックの録音 MIDIプラグインとドラムビート				
【後期】 9～12回目	オーディオトラックの編集とスマートコントロール MIDIトラックの編集				
【後期】 13～16回目	Apple Loopsとスマートテンポ タイムとピッチの編集				
【後期】 17～18回目	アレンジとその他編集 ReviewとFinal Project				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Keyboard proficiency I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Keyboard proficiency I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。前記経験とMI Hollywoodの教科書を熟知した講師がミュージシャンにとって必要な鍵盤のアプローチを方法を授業にて行う。				
授業概要					
鍵盤を利用し、音楽理論のベースを構築しつつ、伴奏楽器の一つとして使えるようにする					
到達目標					
DTM使用の際の基礎的な鍵盤入力方法の習得。 キーボーディストの使うヴォイスイングやバックイングパターンの理解。 DTM使用の際、キーボードを使用したバックイング入力スキルの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	スケール練習1～5				
【前期】 6～10回目	スケール練習6～10				
【前期】 11～15回目	コードの転回型1～5				
【前期】 16～18回目	コードの転回型6～9				
【後期】 1～2回目	4分打ちのバックイング練習 サスティンペダルを使用してのバックイング練習				
【後期】 3～8回目	バックイング練習1～6				
【後期】 9～11回目	バックイング練習1～6の復習 シンセの音色を知る				
【後期】 12～16回目	バックイング練習7～12				
【後期】 17～18回目	バックイング練習7～12の復習 今までのバックイング総復習				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Keyboard performance 1				

授業科目名	Rhythm Reading Workout		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Rhythm Reading Workout	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ギター、ベース、ヴォーカル、ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、日本で活動を開始。エレクトリック、アコースティック問わず「歌モノとしてのギターアプローチ」を追求しており、そのギターワークは、国内アーティストのみならず海外のアーティストからも高い信頼を得ている。前記記載の経験を活かしグルーヴやリズム感を身につける授業を行う。				
授業概要					
基礎的な音楽シンボルの考察とリズムトレーニング					
到達目標					
様々なリズム譜でのトレーニングを通して根本的なリズム力を向上させる					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	基礎的な音楽記号の解説、大枠としてのリズムの考察・概念、8分音符のリズムの考察 道筋を表す譜面上の記号①、8分休符のリズムの考察				
【前期】 6～11回目	16分音符のリズムの考察、道筋を表す譜面上の記号②、16分休符のリズムの考察 ミックスリズムの考察、8分音符と16分音符のミックスリズムの考察				
【前期】 12～15回目	シンコペーションしたリズムの考察、ここまでの学習のレビュー・トレーニング 8分音符の3連符のリズム				
【前期】 16～18回目	2分音符及び4分音符の3連符のリズム、複合リズムを使用したリズムトレーニング リズム譜の考察と全体レビュー				
【後期】 1～5回目	タイを使ったリズム、付点音符と付点休符、タイと付点音符のミックスリズム				
【後期】 6～10回目	スウィングした8分音符、2/4拍子、3/4拍子、6/8拍子、ここまでのレビュー・トレーニング				
【後期】 11～15回目	6/8拍子の16分音符のリズム、16分音符の3連符とスウィングのリズム、カットタイム				
【後期】 16～18回目	変拍子、不規則な拍子記号について、5/8拍子、7/8拍子、全体のレビューとトレーニング				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Rhythm Reading Workout 1, 2				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop I		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則別表上表記	Live Playing Workshop I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各曜日ごと各ジャンルごとのアンサンブル授業に当校の音楽ジャンルや音楽スタイルに精通したキャリアを持つ講師を授業ごとに5～6名を配置し授業を行う。				
授業概要					
課題曲を用いて本番を想定した、ステージ上で行われるバンドアンサンブルの授業。音楽のスタイルやジャンル別に、毎日行われている。各パートの講師がアンサンブルや演奏に関してのレクチャーを行う。					
到達目標					
バンドアンサンブルの技術やステージでの経験値を上げる。様々なジャンルやスタイルの音楽を身につける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が用意する譜面				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Vocal Style Selection I		授業形態 / 必・選	実技	必修
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	90回(180単位時間)	年間単位数	6単位
科目設置学科コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	受業の内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
自身の望むスタイルに必要な授業を選択し、受講する。					
到達目標					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～36回目	選択授業① 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
	選択授業② 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
【後期】 1～54回目	選択授業③ 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
	選択授業④ 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
	選択授業⑤ 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。				